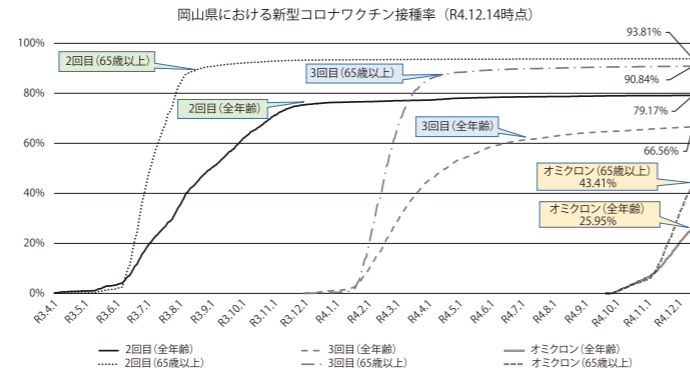
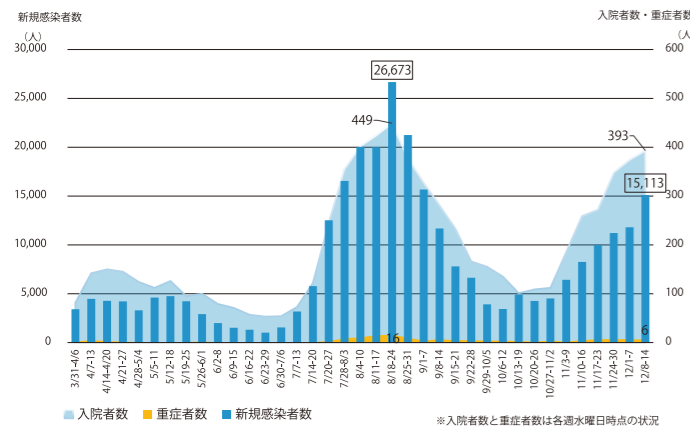


令和4年度ワクチン感染者数・接種率グラフ



令和4年度委員会活動記録  
総合計画・行財政改革特別委員会



▲国立競技場 (2022年10月11日)



▲国立競技場 (2022年10月11日)



▲産業技術総合研究所 (2022年10月12日)



▲道の駅保田小学校 (2022年10月12日)



▲渋谷区議会 (2022年10月13日)



▲PORT ART & DESIGN TSUYAMA (2022年10月18日)



▲湯本温泉館 (2022年10月18日)

農林水産委員会



▲まきばの館 (2022年7月12日)



▲JA晴れの国岡山奈義アスパラガス選果場 (2022年7月13日)



▲JA晴れの国岡山久米南ぶどう部会 (2022年7月13日)



▲あわくら会館 (2022年7月13日)



▲哲多和牛牧場第一牧場 (2022年7月21日)



▲新見バイオマス発電所 (2022年7月21日)



▲福田種鶏場 (2022年8月10日)



▲アグリドリームSETO (2022年8月10日)



▲森林研究所木材加工研究室 (2022年10月12日)

つなぐ通信 (県政活動報告)



つなぐ岡山。



岡山県議会議員 県民の声を明日へつなぐ

おおはし

大橋かずあき



大橋かずあき 政務活動事務所 〒701-0221 岡山市南区藤田497-24

ご挨拶

謹啓

新春の候、時下ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。平素はひとかたならぬ御愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。

この度、皆様へ県政活動報告をさせて頂くべく、「つなぐ通信」を作成させて頂きましたので、ご一読いただければ幸いです。

コロナの感染拡大によって、健康面をはじめ、日々平穏な暮らしそのものが一変し、社会、経済、雇用の不安化する中で、働き方も変わり、教育の在り方にも大きな改革が迫られています。ウィズコロナ・ポストコロナ時代を見据え、傷んだ生活・経済の復活に向け、生活支援や雇用対策、経済支援に力を注ぐとともに、防災・減災対策、農林水産業の振興など、「安心で豊かさが実感できる岡山」を目指してまいります。

今後とも「つなぐ。岡山」を信念に県民の声をしっかりと県政に繋げ、地域発展のため重責を果たしてまいりますので、尚一層のご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

謹白

岡山県議会議員 大橋 和明

所属委員会

- 令和元年  
文教委員会  
防災・環境対策・スポーツ振興特別委員会 副委員長
- 令和2年  
産業労働警察委員会 副委員長  
決算特別委員会
- 令和3年  
土木委員会 副委員長  
決算特別委員会
- 令和4年  
農林水産委員会  
総合計画・行財政改革特別委員会 委員長

令和4年度 新型コロナウイルス感染症と物価高騰等に要する経費に係る補正予算の主なもの

紙面の都合上、一部を掲載しています。詳細は岡山県ホームページなどでご確認ください。

6月補正予算額 4億9534万円

感染拡大防止策と医療提供体制の整備

- 介護施設等における感染防止対策の支援
- 高齢者福祉施設等の従事者に対する集中的な検査の実施

6月補正予算案(追加) 56億7,448万円

原油価格高騰対策

- 原油価格高騰の影響を受ける地域公共交通事業者の事業継続の支援
- 貨物自動車運送事業者の燃費向上のためのエコタイヤ導入の支援
- 施設園芸農家の燃油使用量削減のための設備等の導入の支援

エネルギー・原材料・食料等安定供給対策

- 中小企業の省エネ設備等への更新の支援
- 中小企業が生産性向上に向けて取り組むエネルギー効率化や新事業展開等の支援
- 飼料価格高騰の影響を受ける畜産農家の飼料購入の負担軽減
- 県独自のプレミアム付食券の発行
- 貸切バスを利用した県内宿泊旅行の助成

- 新たな価格体系への適応の円滑化に向けた中小企業対策等
  - 中小企業の融資に係る金利負担を軽減するための利子補助等
- コロナ禍において物価高騰等に直面する生活困窮者等への支援
  - 県立、私立学校における電気料金や給食費等の高騰に対する保護者負担等の軽減
  - ウクライナからの避難民に対する住居の確保や生活の支援
  - 低所得のひとり親世帯への特別給付金の支給
- その他

- 感染症患者を受け入れる重点医療機関における病床確保の支援
- 重症化リスクのない軽度の有症状者を対象とした検査キット配送・陽性者登録センターの運営
- 地域経済の維持と事業の継続のための支援
  - 中小企業が生産性向上に向けて取り組むエネルギー効率化や新事業展開等の支援
  - 飼料価格高騰の影響を受ける畜産農家の飼料購入の負担軽減
  - 県独自のプレミアム付食券の追加発行

11月補正予算額 ▲23億4,122万円

感染拡大防止策と医療提供体制の整備

- ワクチン接種に係る体制整備
- ワクチン接種を促進するための医療機関への支援
- 予備的に計上していた時短要請協力金等の減額
- 感染症患者の分娩や透析対応を行う医療機関への支援

地域経済の維持と事業の継続のための支援

- 物価高騰の影響を受ける医療機関、介護施設等に対する支援
- 土地改良区が管理する農業水利施設の電気料金高騰に対する支援
- 県立、私立学校における電気料金高騰に対する保護者負担等の軽減

9月補正予算額 21億410万円

感染拡大防止策と医療提供体制の整備

- 高齢者福祉施設等の従事者に対する集中的な検査の実施
- 休日に発熱患者等の診療・検査を行う医療機関への支援

地域経済の維持と事業の継続のための支援

- 中小企業等への支援
- 観光需要の喚起

9月補正予算案(追加) 165億2,284万円

感染拡大防止策と医療提供体制の整備

令和4年度一般会計補正予算

**Q 観光振興について**

(前略)7月から「岡山 destinations キャンペーン “こころ晴ればれおかやまの旅”」が開催されます。現在、様々なPR活動を実施していますが、この機会を逃さず、本県の新たな魅力を発信し、国内外から誘客を図る絶好のチャンスと考えます。  
県は、コロナ禍で大きく落ち込んだ観光需要を、今後どのように回復させていくお考えでしょうか。

**A [産業労働部長]**

インバウンドの再開を機に、旅行先として本県が選ばれるよう、相手国の特性に応じたプロモーション等にしっかりと取り組むとともに、DCの成果や観光客の動向等を検証・分析した上で、ポストコロナを見据えた観光戦略を策定し、市町村等と共有しながら、満足度の高い、持続可能な観光地づくりを進めてまいりたいと存じます。

**Q 教育について**

**総合教育会議**

政令指定都市である岡山市は、教育行政への人事や給与など様々な権限を持っていることから、2つの異なる基準で評価するダブルスタンダードは、教育現場に混乱を招きかねないなどとして、県の目標から岡山市立学校を除外するよう求めています。(中略)  
この度の双方の総合教育会議での議論を、今後の県の教育施策にどのように活かしていくおつもりでしょうか。また、県と市の隔たりについて、今後どのように解消を図っていられるのでしょうか。

**A [知事]**

双方の総合教育会議の議論を通して、岡山市教委とは特に連携を保つ必要があると、改めて認識したところであり、それぞれの教育施策が相乗的な効果を発揮し、県全体の教育力の向上に資するよう取り組んでまいりたいと考えております。(中略)  
議論されている中身や問題意識については、共通するところが多いと感じており、これからもしっかりと話し合いを続けていきたいと考えております。

**Q 農業について**

**県産米緊急販売拡大対策事業の効果**

(前略)米価下落対策として、県内の市町村は、様々な形で農家へ直接的な経営支援を行いました。本県は、米卸売業者に対して県産米の販売拡大、消費拡大を目的とした「県産米緊急販売拡大対策事業」を創設し、「県産米増量販売フェア」「県産米ごはん増量(もう一杯)フェア」を実施し、間接的に経営支援を行いました。  
本事業が実施されて6ヶ月が経過しますが、県産米の販売拡大、消費拡大にどのような効果があったのか。

**A [農林水産部長]**

今年4月末時点の在庫量は、前年同月と比較して、全国計及び中国地方の他県では増加している中、本県では5.2%の減少となっております。  
米卸業者からは、このキャンペーンにより、米の売行きが改善してきた、自社独自で増量キャンペーンを計画したいなどの報告を受けており、県産米の販売拡大等に一定の効果が出ているものと考えております。

**Q 地域公共交通について**

**パーソントリップ調査**

人口減少や新型コロナの拡大の影響で地域公共交通の維持が厳しさを増す中、県は、今年度、県全域で「パーソントリップ調査」を実施します。(中略)  
本調査は、交通機関が少ない地域では、調査を行う意味合いが薄いと思われます。県全域での調査の目的、狙いについてお伺いします。

**A [県民生活部長]**

公共交通利用の少ない地域を含めた個々の移動ニーズを把握し、交通体系とのミスマッチを解消することで、中山間地域を含めた公共交通ネットワーク全体の活性化を図るため、今回、県内全域を対象にパーソントリップ調査を実施することとしております。

**その他の質問事項**

新型コロナウイルス感染症、おかやま愛カード、ユニバーサルデザインタクシー



※紙面の都合上、一部を掲載しています。詳細は、岡山県議会のHPをご覧ください。

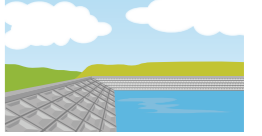
**Q 県管理河川の整備等について**

**草刈り等**

河川堤防の損傷箇所や堤防内の空洞化による陥没などの確認、河川巡視等による安全点検など堤防の管理は極めて重要であり、雑草が生い茂っている状態では、堤防の点検・管理は出来ません。  
そのため、県管理河川の草刈り等の管理は、河川管理者の岡山県が責任を持って行うべきと考えます。

**A [土木部長]**

堤防の管理については、定期的な巡視のほか、出水期後の草の少ない時期に点検を実施し、必要な修繕を行っており、施設管理の支障となる草木等については、その程度に応じ伐採等を行っているところであります。地域の方々と協働して河川を維持管理していくことは、防災・減災の観点からも重要だと考えており、今後も適切な維持管理に努めてまいりたいと存じます。



**Q 中学校の部活動について**

**部活動の在り方**

日本中学校体育連盟は、来年度から全国中学校体育大会について、学校単位だけでなく、民間のクラブや団体も出場できるよう参加資格を緩和する方針を決めました。従来、中学校の学習指導要領において「学校教育の一環」とされてきた部活動は、地域移行やこの参加資格の緩和により大きく変わるのではないかと考えます。

**A [教育長]**

部活動は、生徒の自主的・自発的参加により、スポーツや文化活動に取り組むことで、学習意欲の向上や責任感、連帯感などの育成に資するものであり、大会の参加資格緩和等により、この教育的意義が変わるものではないと考えております。  
今後、部活動が段階的に地域移行される中で、生徒が興味、関心に応じて自分にふさわしい活動を選べるような形が望ましいと考えております。

**Q RTK固定基地局の整備について**

「RTK固定基地局」は、土木測量、建設機械の自動運転、交通インフラにおける監視業務の自動化、インフラ監視用のセンサー、運送業におけるドローンを使った配達業務など、スマート農業以外の分野にも活用が考えられています。(中略)

本県でも、近い将来のIoT社会を見据え、ITインフラとして「RTK固定基地局」の整備を考えてはいかがでしょうか。

**A [総務部長]**

農業や建設業など、幅広い分野で活用が考えられ、他県でも基地局整備等の取組が行われていると承知しております。一方で、民間事業者による高精度位置情報のサービス提供が全国で行われていることなどから、基地局の整備は考えておりませんが、引き続き、関係部局とともに、効果や課題など、この技術に関する情報収集に努めながら研究してまいりたいと存じます。

**Q 災害時のアマチュア無線の活用について**

令和3年3月に電波法施行規則等の改正で災害や地域イベントなど社会貢献活動への活用ができるようになり、防災ボランティア活動によるアマチュア無線の活用がいつそう進むことが期待されています。

本県では、災害等の非常事態に備えて、県内のアマチュア無線団体と災害時応援協定を締結していますが、このたびの規則等の改正を受けて、今後、災害時にアマチュア無線をどのように活用するおつもりでしょうか、危機管理監にお伺いします。

**A [危機管理監]**

今回の国の制度改正により、これまでの非常通信だけでなく、社会貢献活動についても活用できることとされたことも踏まえて、市町村など関係機関と協議しながら、同団体の災害時の役割や活動内容を再確認し、協定の実効性を高めてまいりたいと存じます。

**その他の質問事項**

新型コロナウイルス感染症、総合型地域スポーツクラブについて

- 県民の生活を守る対応について
- 指定管理者制度について
- 農家の経営安定について
- 若年層の投票率の向上について